

小学校社会科「国旗・国歌」の指導例

第3・4学年

【小学校学習指導要領の記述】(参考 小学校学習指導要領解説P46-47)
 第3・4学年 内容の取扱い(7)イ「エについては、我が国や外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。」

単元名	わたしたちの北海道のまちづくり		
本時の目標	北海道と交流のある国々について調べ、交流の様子から北海道の特色について考える。		
過程	主な学習活動	国旗・国歌にかかわる学習活動	*評価
導入	中国語、韓国語、ロシア語で書かれた「北海道」(道庁)のホームページを見比べ、周辺の国々との交流に関心をもつ。		指導のポイント ・北海道と周辺の国々との交流に気付かせる。
	本時の課題 なぜ、いろいろな国の言葉でホームページをつくっているのだろうか。		
展開	中国、韓国、ロシアの位置と国旗を地図帳を活用して調べる。 北海道と中国や韓国、ロシアはどのような交流をしているのか、資料や写真から読み取る。 〔調べる観点〕 ・交通のつながり ・食べ物をつながり ・文化のつながり	調べる観点を選択し、資料から必要な情報を読み取る。	・国旗は具体的な活動を通して調べることができるよう時間を確保する。 ・資料を整理し、まとめることができるよう調べる観点を示す。
まとめ	北海道の特色と関連させて中国や韓国、ロシアの言葉でホームページを作成している理由を説明する。 *〔思考・判断・表現〕資料を活用して北海道の特色を考え、適切に表現している。		・資料からわかった情報を活用して説明するよう促す。
【参考にした教科書の記述(H23年度版)】教育出版(3・4年下)P154-P161 東京書籍(3・4年下)P152-P157 【活用した資料】北海道庁ホームページ http://www.pref.hokkaido.lg.jp/			

第5学年

【小学校学習指導要領の記述】(参考 小学校学習指導要領解説P55-56)
 第5学年 内容の取扱い(1)ア「アの『主な国』については、近隣の諸国を含めて取り上げるものとする。その際、我が国や諸外国には国旗があることを理解するとともに、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。」

単元名	わたしたちのくらしと国土		
本時の目標	世界の国や主な大陸・海洋と我が国との位置関係について調べ、日本列島の特色を理解する。		
過程	主な学習活動	国旗・国歌にかかわる学習活動	*評価
導入	日本のまわりにある海洋や国について発表する。		指導のポイント ・北方領土に着目させる。
	本時の課題 世界の中で日本がどこにあるか、わかりやすく説明しよう。		
展開	世界の国や主な大陸・海洋、国の名称と位置について地球儀や地図等を活用して調べる。 ・六大陸、三海洋、主な国の名称と位置...白地図に記入する。 ユーラシア大陸(10)、北アメリカ大陸(2)、南アメリカ大陸(2)、アフリカ大陸(2)、オーストラリア大陸(2) 調べた国の情報のひとつとして国旗をカードに整理する。		・図書室やインターネットを活用できるよう準備する。 ・調べたことを白地図にまとめさせる。 ・国旗を貼り付けられるカードを準備する。
まとめ	地図や地球儀を使って日本の位置関係を、世界の大陸や海洋、周りの国々の位置をもとに説明する。 *〔知識・理解〕日本の位置関係と日本列島の特色を理解している。		・地図や地球儀を活用して説明する場合は、東西の位置関係に留意する必要があることを補足する。
【参考にした教科書の記述(H23年度版)】教育出版(5年上)P6-P15 東京書籍(5年上)P2-P11 【活用した資料】外務省ホームページ http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/index.html			

小学校社会科「国旗・国歌」の指導例

第6学年

【小学校学習指導要領の記述】(参考 小学校学習指導要領解説P97-99)
 第6学年 内容の取扱い(3)エ「ア及びイについては、我が国の国旗と国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を育てよう配慮すること。」

単元名	我が国の国際交流と国際協力		
本時の目標	我が国の国旗と国歌の成り立ちについて調べることを通して、国旗・国歌の意義を理解するとともに、我が国や諸外国の国旗と国歌を尊重することの大切さについて理解する。		
過程	主な学習活動	国旗・国歌にかかわる学習活動	*評価
導入	オリピックやワールドカップの開会式や表彰式の写真を見て、 ・いずれの国でも国旗を大切にしていること ・我が国の国旗、外国の国旗を尊重することが大切であること について、具体的な様子を読み取る。 選手や観客が自国の国旗・国歌を尊重している様子から、国旗や国歌の意義について関心をもつ。		・指導のポイント ・第3・4学年、第5学年の学習を想起させる。 ・写真を読み取る視点を示す。
	本時の課題 国歌や国旗はなぜ大切にされるのだろうか。		
展開	ワールドカップ開催地の南アフリカ共和国が社会体制の大きな変化により、1994年に国旗を変更したことを示す資料を読み、国民が大きな希望を込め、新しい国旗を制定したことを読み取る。 日本の国旗や国歌にはどのような意味があるのか、資料から読み取る。 ・江戸時代に太平洋を横断した「咸臨丸」のエピソードを示す資料を読み、「日章旗」が日本の国旗としての役割をもち、次第に国旗として扱われるようになった様子を読み取る。 ・音楽の教科書を活用して「君が代」の学習を振り返り、平安時代の和歌をもとにつくられていること、未永く我が国が繁栄することを願っている歌詞であることを読み取る。		・国旗には国民の願いが込められていることに気付くよう、資料を再構成する。 ・日章旗と君が代が、長年の慣行により国旗・国歌として定着していること、現在では法律で定められていることについて気付かせる。 ・音楽科の指導との関連を図る。
まとめ	二国の事例から、国旗や国歌は、 ・いずれの国でもその国の象徴として大切にされていること ・国を象徴していることから、お互いに尊重し合う必要があること について、資料から読み取ったことと、自分の考えに分けて説明する。 記述例 南アフリカ共和国の国旗には、いろいろな民族がながよく暮らせる国をつくりたいという願いがこめられていた。そして、日本の国歌には、これからもずっと長い間、平和な国であるようにしたいという願いがこめられていた。 だから、国旗や国歌は、自分の国の歴史や将来に対する思いがいっぱいつまっていますと思うので、外国の国旗や国歌を尊重することも大切なことだと思った。		努力を要する子どもへの手立て ・書き出しの言葉を助言したり、根拠となることを説明に加えたりするよう助言する。 ・調べる際に役立つホームページなどをまとめた資料を提示する。
	*【知識・理解】国旗と国歌の意義、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重することが大切であることを理解している。 【家庭学習の課題】 「日本とつながりの深い国々」で調べた国の中から、1か国を選び、国旗や国歌の成り立ちや意味を調べ、レポートにまとめる。		
【参考にした教科書の記述(H23年度版)】 ・教育出版(6年下)P60-P61 東京書籍(6年下)P72-P73 【活用した資料】 ・外務省ホームページ「キッズ外務省」 http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/index.html ・探検しよう!みんなの地球 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyuu/index.html			

中学校社会科「国旗・国歌」の指導例

公民的分野

【中学校学習指導要領の記述】(参考 中学校学習指導要領解説P115-117)
 【公民的分野】内容の取扱い(5)ア(ウ)「『国家間の相互の主権の尊重と協力』との関連で、国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるよう配慮すること。」

単元名	世界平和の実現に向けて 「国際社会のしくみ」			
本時の目標	国家の主権や国際会議の様子などについて調べることを通して、国際社会の平和と秩序を維持していくために必要なことについて理解している。			
過程	主な学習活動	国旗・国歌にかかわる学習活動	*評価	指導のポイント
導入	北方領土にかかわる数社の新聞記事から、国家には領土、領海、領空の権利があること、排他的経済水域が認められていることなどの地理的分野の既習事項を想起する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本時の課題 国家と国家が互いに尊重し合うためには、どのようなことが必要か。 </div>			・地図帳を活用しながら、新聞記事の内容を読むように指示する。
	新聞記事を比較しながら、日本は未解決の領土問題を平和的な手段で解決しようと努力していることを読み取る。 平和的な手段とは、国際法に基づいた行動であることに気付き、日本の領土を確定したサンフランシスコ平和条約などを例として、国際法のひとつに条約があることを理解する。 公海の自由などを例として、国際法のひとつに国際慣習があることを理解する。 国家と国家が互いに尊重し合うこととして、国際的な儀礼を取り上げ、「北海道洞爺湖サミット」の写真をもとに、国旗や国歌の取り扱いについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・会議場に国旗が掲げられる意味 ・各国の要人を小旗を振って迎える意味 			・領土、領海や排他的経済水域の模式図と日本地図を関連させて考えるよう促す。
展開	国家と国家が互いに尊重し合うためにどのようなことが必要か、既習事項をもとに、この観点から整理し、まとめる。 【まとめる視点】 領土問題で対立している国家間ではどのようなことが必要か、既習事項の「国際法」を用いてノートに書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 記述例 領土問題は互いの主張が対立し、解決が長引いているので、例えば、領土問題を解決する新しい国際法をつくるような努力も必要だと思ふ。しかし、私たちの暮らしの中でも法や慣習を守るとともに、話し合いを通して解決を図ることが大切であるように、国家間においても、お互いに国際法に基づいて話し合い、平和的に解決しようとする態度をもつことが必要だと思ふ。 </div>			写真「北海道洞爺湖サミット」 <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 努力を要する子どもへの手立て </div> ・国家間の対立を身近な社会において見られる対立に置き換えて考えるよう促す。 ・自分の考えを「例えば…」や「…のように」などを使いながらで説明するように助言する。
まとめ	国際会議や国際的なスポーツ大会など、互いに協力して取り組むためにはどのようなことが必要か、「国旗」や「国歌」を用いてノートに書く。 記述例 例えば、自分たちの暮らしの中でも、協力して何かをする場合には、お互いの考えを理解しようとする態度が必要だから、国際社会でも、「あなたの国を大切に考えています」という気持ちを表す態度として国旗や国歌を尊重することが必要だと思ふ。			
*【知識・理解】国家の主権が相互に尊重されなければならないことを理解し、その知識を身に付けている。				
【参考にした教科書の記述（H21年度版）】教育出版（公民）P132-P133 東京書籍（公民）P154-P155 【活用した資料】 北海道洞爺湖サミットホームページ http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/toyako08/				